

第36回 北海道臨床工学会 会場プログラム

☆一般演題は口演6分、質疑応答2分で時間厳守をお願いします。

	A会場	B会場	C会場	D会場
	2階 講堂 (310席)	1階 小講堂 (196席)	1階 第1会議室 (150席)	1階 第3会議室 (50席)
9:45	受付開始 (9:45～14:30)			
10:00	開会式			
10:05	一般BPA演題	学生演題	公益事業推進委員会 活動報告	
	10:05～10:55 O-01～O-05 座長：布施 崇宏 先生	10:05～10:55 O-10～O-15 座長：日沖 一木 先生	10:05～11:05 「公益事業推進委員会の活動を知っていますか？」 座長：函館五稜郭病院 雲母 公貴 先生 苫小牧日翔病院 佐藤 光人 先生 1. 「公益事業推進委員会ってなんですか？」 月安 啓一郎 先生 2. 「公益活動の実情と実績」 佐藤 貴彦 先生 3. 「新規委員の体験談」 ～前任者から受け継いだバトン 山本 悦子 先生 ～公益委員会に参加してみたら 梶原 康平 先生 企画：公益事業推進委員会	
11:00	学生BPA演題	血液浄化/その他		
	11:00～11:40 O-06～O-09 座長：布施 崇宏 先生	11:00～11:50 O-16～O-21 座長：加藤 宝貢 先生 成田 紘生 先生		
12:05	ランチョンセッション (12:05～13:05)	ランチョンセミナーB会場(12:05～13:05)	ランチョンセミナーC会場 (12:05～13:05)	
	ベースメーカー業務の今後の展望 ～我々は今、何をすべきか！ 立合い規制導入から17年～ 進行：扇谷 稔 先生 講演1「立合い規制について再確認」 演者：扇谷 稔 先生 講演2「植込み業務におけるメーカー依存からの脱却を目指して」 演者：貝沼 宏樹 先生 講演3「透析施設におけるベースメーカー業務～メーカー依存からの脱却を目指して～」 演者：西谷 彰紘 先生 共催：アボットメディカルジャパン合同会社／日本ライフライン株式会社 バイオロニクジャパン株式会社／フクダ電子株式会社	座長：小林病院 人工透析室室長 五十嵐 俊仁 先生 講演1「当院の運用をふまえたCARTのキホンとススメ」 講師：岩見沢市立総合病院 医療局 医療技術部 臨床工学科 鶴田 博規 先生 講演2「当院のCART治療最前線」 講師：北海道消化器科病院 臨床工学科 技士長 川西 啓太 先生 共催：株式会社カネカメディックス	座長：北海道大学病院 ME機器管理センター 部長・臨床工学技士長 太田 稔 先生 「医療DXによる機器開発を担う ～開発変遷と意義を振り返る」 演者：仙台赤十字病院 医療技術部 臨床工学技術課 課長 吉岡 淳 先生 共催：ニプロ株式会社	
13:35	支部活動報告	循環器/内視鏡	ワークショップ	スイーツセミナー
	13:35～15:15 座長：北海道臨床工学技士会 会長 布施 崇宏 「各支部活動報告」 石狩支部長 上村 恵一 (天使病院) 道北支部長 成田 孝行 (旭川医科大学病院) 空知支部長 小林 勝 (滝川市立病院) 日胆支部長 佐藤 光人 (苫小牧日翔病院) 後志支部長 笹山 貴司 (済生会小樽病院) 十勝支部長 村谷 拓 (清水赤十字病院) 釧根支部長 倉重 諭史 (釧路赤十字病院) オホーツク支部長 好井 透 (北見赤十字病院) 道南支部長 雲母 公貴 (函館五稜郭病院) 「代議員制について」 北海道臨床工学技士会 会長 布施 崇宏	13:35～14:25 O-22～O-26 座長：境谷 亘矢 先生 中川 涼希 先生 座長：神山 英昇 先生 松本 美和 先生	13:35～15:15 北海道臨床工学技士会 教育委員会企画 一臨床実習指導者講習会 体験ワークショップ 企画・運営 (教育委員会) 座長：那須 敏裕 先生 (市立札幌病院) 磯 雅 先生 (市立旭川病院) 講師：工藤 元嗣 先生 (日本医療大学) ファシリテータ：板坂 竜 (市立札幌病院) 伊藤 仁弥 (函館五稜郭病院) 岡山 雅哉 (日本医療大学) 高平 昂 (日本医療大学) 富士 明里 (旭川医科大学病院) 高良 亮治 (斗南病院) 企画：教育委員会	13:35～15:15 司会：委員長 山本 将平 先生 副委員長 小室 拓也 先生 第一部：特別講演 「専門認定制度が育てる次世代CE」 ～専門家からチーム医療の推進者へ～ 公益社団法人 日本臨床工学技士会 専門認定検定委員会 担当理事 千葉メディカルセンター 配野 治 先生 第二部：委員会企画 挑戦する価値がある！ 資格取得の《リアル》 函館五稜郭病院 大橋 利成 先生 旭川赤十字病院 小野寺 哲兵 先生 主催：人材活性委員会
15:20	閉会式 BPA、フォトコンテスト表彰、閉会の辞			

【参加者の皆様へご案内】

- ◆参加受付は、事前参加受付になります。下記のURLよりお申し込みください。受付締め切りは11月18日(火)正午までです。

◆<https://peatix.com/event/4049270/view>



- ◆参加登録及び参加費のお支払い方法をクレジット、コンビニ、ATMからお選びください。また期日までにお支払いを済ませていただけますようお願いいたします。期日までに入金もしくは決済が確認できない場合は、参加登録が完了したことになりませんので、ご注意ください。領収書はPeatixの領収証をもって代えさせていただきます。
- ◆事前参加費は次の通りです。
 - ◆正会員 3,000円、賛助会員 3,000円、養成校学生 2,000円
 - ◆非会員 7,000円
- ◆当日電子決済(現金での受付は行いません)
 - ◆正会員 4,000円、賛助会員 4,000円、養成校学生 2,000円
 - ◆非会員 8,000円
- ◆事前決済の方がお得になっておりますので、できる限り事前決済で行なってください。
 - ◆令和5年10月1日からインボイス制度が開始されましたが、公益社団法人北海道臨床工学技士会は、『消費税免税事業者』です。よって、当会は適格請求書発行事業者ではないため、インボイス登録番号の取得はありません。何卒ご理解賜りますようお願いいたします。
- ◆許可のない会場内での写真撮影ならびの動画撮影・録音は固くお断りします。
- ◆会場内では、携帯電話などのスイッチはお切りいただくか、マナーモードに切り替えてください。
- ◆会場での呼び出しは行いません。
- ◆質問は所属・氏名を述べたのち要点のみを簡潔に発言し、限られた時間内で有意義な討論ができるようご配慮下さい。
- ◆今回より抄録集はデジタルのみとなります。会員向けに配布しませんので、各自ホームページの会員専用ページよりダウンロードしてください。

【単位付与について】

- ◆各認定の更新時には本学会の参加証が必要です。再発行は出来ませんので大切に保管してください。以前のように、対象となる講演ごとに受講証明書を発行することは致しません。参加証で申請して下さい。(申請中を含む)
 - ◆血液浄化専門臨床工学技士、不整脈治療専門臨床工学技士、呼吸治療専門臨床工学技士、高気圧酸素治療専門臨床工学技士、手術関連専門臨床工学技士、内視鏡業務専門臨床工学技士、心・血管カテーテル専門臨床工学技士 8単位
 - ◆認定血液浄化臨床工学技士、認定医療機器管理臨床工学技士 8単位
 - ◆一般社団法人 日本医療機器学会認定
 - ◆MDIC単位取得 一日参加 10点、演題発表 10点、共同演者 3点
- 演者、座長等での単位取得に関する証明書が必要な方は事務局にお問い合わせください。

【会場参加者の皆様へ】

- ◆感染対策は各自の判断にお任せます。

A 会場(2階 講堂)

開会式(10:00)

開会の辞

公益社団法人 北海道臨床工学技士会会長 布施 崇宏

一般 BPA10:05～10:55

座長 布施 崇宏 先生(北海道臨床工学技士会 会長)

0-01 当院における FFRangio®の虚血診断精度に関する検討
～心筋シンチグラフィを基準とした検討～

市立旭川病院 臨床工学室¹⁾

市立旭川病院 中央放射線科²⁾、市立旭川病院 循環器内科³⁾

○田中 義範¹⁾、磯 雅¹⁾、佐藤 勇也¹⁾、山口 和也¹⁾、澤崎 史明¹⁾

窪田 将司¹⁾、高坂 優吾²⁾、西田 純²⁾、大塩 良輔²⁾、三ツ井 貴博²⁾

石井 良直³⁾

0-02 スマートエコーを用いたバスキュラーアクセス機能評価に関する比較検討

日本赤十字社 旭川赤十字病院 医療技術部 臨床工学課

○畑 舞鈴、貝沼 宏樹、佐藤 あゆみ、黒田 恭介、小野寺 哲兵、増子 真人

林 淳介、菅原 望希、鈴木 七海、小室 拓也

0-03 道北地区の透析施設における災害対策の現状調査

北海道臨床工学技士会 道北支部 安全部会

○近江 勇祐、奥山 翔平、川又 大輔、斎藤 誠、村中 優友、本手 賢

宮越 千紘、田中 義範、成田 孝行

0-04 サンフリーCi の炭酸カルシウムの溶解能力について

社会医療法人 北楡会 札幌北楡病院 臨床工学技術科¹⁾

外科²⁾

○本庄 一華¹⁾、月安 啓一郎¹⁾、小塚 麻紀¹⁾、後藤 順一²⁾

0-05 積層型ダイアライザにおける single-pool urea Kt/V

社会医療法人母恋 日鋼記念病院 臨床工学室¹⁾

東室蘭サテライトクリニック 臨床工学室²⁾

○植村 進¹⁾、松本 樹¹⁾、古家 琴美¹⁾、山田 玲也¹⁾、清水 颯太¹⁾

高橋 彩香¹⁾、束原 汰一²⁾、湊 千笑¹⁾

学生 BPA11:00～11:40

座長 布施 崇宏 先生(北海道臨床工学技士会 会長)

0-06 エンドトキシン捕捉フィルタにおける細菌由来 DNA の吸着性能と
除去率に関する検討

北海道科学大学 保健医療学部 臨床工学科

○島田 楓月、小野寺 優、長谷川 蒼太、中村 実

0-07 シリカゲルを用いた改良型カラムにおける細菌由来 DNA の吸着性能に
関する検討

北海道科学大学 保健医療学部 臨床工学科

○増川 陽斗、阿部 小葉、齋藤 寛太、中村 実

0-08 脱気ポンプ専用消毒装置における適切な熱水消毒条件の検討

北海道科学大学 保健医療学部 臨床工学科

○平山 瑞菜、泉 七愛、上谷 功雅、中村 実

0-09 透析環境における素材表面と細菌付着性および生存性に関する基礎的検討

日本医療大学 保健医療学部 臨床工学科

○細岡 柚月、齋藤 彰啓、岡山 雅哉

ランチオンワークセッション(12:05～13:05)

テーマ： ペースメーカー業務の今後の展望

～我々は今、何をすべきか！ 立合い規制導入から 17 年～

進行： 札幌孝仁会記念病院

扇谷 稔 先生

講演① 12:05～12:25

「立合い規制について再確認」

演者：扇谷 稔 先生（札幌孝仁会記念病院）

講演② 12:25～12:45

「植込み業務におけるメーカー依存からの脱却を目指して」

演者：貝沼 宏樹 先生（旭川赤十字病院）

講演③ 12:45～13:05

「透析施設におけるペースメーカー業務～メーカー依存からの脱却を目指して～」

演者：西谷 彰紘 先生（札幌東ネフロクリニック）

共催：北海道臨床工学技士会

アボットメディカルジャパン合同会社

日本ライフライン株式会社

バイオトロニックジャパン株式会社

フクダ電子株式会社

支部活動報告(13:35～15:15)

「各支部活動報告」

座長	布施 崇宏	先生	(北海道臨床工学技士会 会長)
石狩支部長	上村 恵一	先生	(天使病院)
道北支部長	成田 孝行	先生	(旭川医科大学病院)
空知支部長	小林 勝	先生	(滝川市立病院)
日胆支部長	佐藤 光人	先生	(苫小牧日翔病院)
後志支部長	笹山 貴司	先生	(済生会小樽病院)
十勝支部長	村谷 拓	先生	(清水赤十字病院)
釧根支部長	倉重 諭史	先生	(釧路赤十字病院)
林-ツク支部長	好井 透	先生	(北見赤十字病院)
道南支部長	雲母 公貴	先生	(函館五稜郭病院)

「代議員制について」

布施 崇宏 先生(北海道臨床工学技士会 会長)

閉会式 15:20～

優秀演題 表彰式

公益社団法人 北海道臨床工学技士会会長 布施 崇宏

フォトコンテスト 表彰式

閉会の挨拶

公益社団法人 北海道臨床工学技士会副会長 木村 吉治

学生演題 10:05～10:55

座長 日沖 一木 先生(北海道臨床工学技士会 副会長)

0-10 サンプリングポート解放時における脱血回路への空気引き込みに関する実験的検討

北海道情報大学 医療情報学科 臨床工学専攻¹⁾

北海道情報大学 医療情報学部 医療情報学科²⁾

○會田 悠人¹⁾、谷 晃希¹⁾、谷川 風琉¹⁾、佐々木 柚紀¹⁾、千葉 二三夫²⁾
西部 俊哉²⁾

0-11 ECMO 回路組み立て VR コンテンツの教育について

北海道情報大学 医療情報学科 臨床工学専攻¹⁾

北海道情報大学 医療情報学部 医療情報学科²⁾

○谷 晃希¹⁾、會田 悠人¹⁾、佐々木 柚紀¹⁾、谷川 風琉¹⁾、千葉 二三夫²⁾
西部 俊哉²⁾

0-12 超音波流量計におけるセンサ装着角度が表示値に与える影響

日本医療大学 保健医療学部 臨床工学科

○紅葉 悠輝、大西 浩生、宝田 晃汰、加川 宗芳

0-13 転倒転落防止センサーの使用上の課題と臨床工学技士の役割

日本医療大学 保健医療学部 臨床工学科

○小林 莉玖、工藤 美咲、瀧本 詩菜、斉藤 徳

0-14 透析用監視装置 (TR-3300S) の実血流量モニタリングシステムについての検討

北海道情報大学 医療情報学科 臨床工学専攻¹⁾

北海道情報大学 医療情報学部 医療情報学科²⁾

○谷内 元紀¹⁾、會田 悠人¹⁾、谷 晃希¹⁾、谷川 風琉¹⁾、千葉 二三夫²⁾
加藤 伸彦²⁾、西部 俊哉²⁾

0-15 持続的腎代替療法における拡散と濾過によるクリアランス特性

日本医療大学 保健医療学部 臨床工学科

○箕輪 萌華、今田 早耶、黒澤 きら、千原 伸也

血液浄化/その他 11:00～11:50

座長 加藤 宝貢 先生(萬田記念病院)

成田 紘生 先生(旭川医科大学病院)

0-16 「透析医療災害時情報共有訓練 in 北海道」を実施して
公益社団法人 北海道臨床工学技士会 危機管理委員会 (交雄会新さっぽろ病院)
○高根 麻央

0-17 HVSI 導入前後における VA エコー・VAIVT 件数の比較検討
旭川赤十字病院 医療技術部 臨床工学課
○半田 大季、児玉 有里紗、小室 拓也、林 淳介、増子 真人、小野寺 哲兵
黒田 恭介、佐藤 あゆみ、貝沼 宏樹

0-18 VA 管理フローチャートがエコーを用いた VA 管理への意識に与える影響
医療法人萬田記念病院 診療部 ME¹⁾
内科²⁾、腎臓内科³⁾
○渡部 佑樹¹⁾、谷内 和樹¹⁾、堀口 勝矢¹⁾、横山 喬久¹⁾、加藤 宝貢¹⁾
柴田 晴昭¹⁾、萩原 誠也²⁾、名和 伴泰³⁾

0-19 当院における透析液濃度管理方法について
旭川医科大学病院 診療技術部 臨床工学技術部門
○佐々木 勝也、定岡 龍輝、延藤 優太、本吉 宣也、南谷 克明、山崎 大輔
成田 孝行、宗万 孝次

0-20 血液透析施設における感染性廃棄物シーラーの有用性の検討
医療法人萬田記念病院 診療部 ME¹⁾
内科²⁾、腎臓内科³⁾
○横山 喬久¹⁾、渡部 佑樹¹⁾、谷内 和樹¹⁾、堀口 勝矢¹⁾、加藤 宝貢¹⁾
柴田 晴昭¹⁾、萩原 誠也²⁾、名和 伴泰³⁾

0-21 感染症版 BCP 策定支援医療機関に選定 透析室の取組と今後の課題
医療法人社団 伸孝会 ていね泌尿器科¹⁾
一般社団法人 北海道総合研究調査会・情報企画部²⁾
一般社団法人 北海道総合研究調査会・医療介護研究部³⁾
公益社団法人 日本医業経営コンサルト協会⁴⁾
○阿部 義啓¹⁾、神谷 憲一²⁾、星野 克紀³⁾、藤田 晃⁴⁾

ランチョンセミナー B 会場(12:05～13:05)

座長：小林病院 人工透析室室長 五十嵐 俊仁 先生

講演 1 「当院の運用をふまえた CART のキホンとススメ」

講師：岩見沢市立総合病院 医務局 医療技術部
臨床工学科 鶴田 博規 先生

講演 2 「当院の CART 治療最前線」

講師：北海道消化器科病院 臨床工学科
技士長 川西 啓太 先生
共催：株式会社カネカメディックス

循環器/内視鏡 13:35～14:25

座長 境谷 亘矢 先生(勤医協中央病院)
中川 涼希 先生(北海道医療センター)

0-22 心不全療養指導士として臨床工学技士が果たせる役割

医療法人溪和会江別病院 CE 科¹⁾

循環器内科²⁾、リハビリテーション科³⁾、看護部⁴⁾、栄養科⁵⁾

○帰山 侑樹¹⁾、菊地 肇³⁾、諏訪 彩華⁴⁾、佐藤 聖羅⁵⁾、杉澤 眞拡¹⁾

佐野 嘉輝¹⁾、田村 俊樹¹⁾、福家 百香¹⁾、大森 幹太¹⁾、松本 純一²⁾

0-23 右房(RA)からの心腔内エコー描出による CARTO SOUND™FAM のマージ精度の調査と有用性

北海道大学病院 ME 機器管理センター¹⁾

循環器内科²⁾

○堀田 蛍¹⁾、天満 太郎²⁾、佐々木 亮¹⁾、平子 竜大¹⁾、千葉 裕基¹⁾

前野 幹¹⁾、金澤 雅浩¹⁾、太田 稔¹⁾

0-24 医師が立ち会わない心臓植え込み型電気的デバイス使用患者の MRI 検査

旭川医科大学病院 診療技術部 臨床工学技術部門

○成田 紘生、福士 明里、佐藤 貴彦、天内 雅人、山崎 大輔、宗万 孝次

0-25 大腸憩室出血に内視鏡的結紮術(EBL)を施行し良好な止血を得られた 1 例

彰和会 北海道消化器科病院 臨床工学科¹⁾

内科²⁾

○大家 雅翔¹⁾、川西 啓太¹⁾、巻 勇太郎¹⁾、藤原 信弘¹⁾、大森 蓮矢¹⁾

星 沙織¹⁾、市川 晶¹⁾、佐々木 清貴²⁾、諏訪 兼彦²⁾

0-26 腸内視鏡検査時の苦痛緩和対策 ～当院でのリカバリースコープの使用報告～

医療法人彰和会 北海道消化器科病院 臨床工学科¹⁾

内科²⁾

○市川 晶¹⁾、巻 勇太郎¹⁾、大家 雅翔¹⁾、藤原 信弘¹⁾、大森 蓮矢¹⁾

星 沙織¹⁾、川西 啓太¹⁾、佐々木 清貴²⁾

ME 管理/呼吸器/ショート 14:35～15:15

座長 神山 英昇 先生(北海道大学病院)

松本 美和 先生(北海道大学病院)

0-27 人工呼吸器 SERV0-air 搭載バッテリーの性能評価

北海道大学病院 ME 機器管理センター¹⁾

ムトウテクノス²⁾

○佐藤 大樹¹⁾、佐々木 俊介²⁾、太田 稔¹⁾

0-28 臨床工学技士の認知度向上に向けた高校生へのアプローチ
～VR を活用した人工呼吸器回路組み立てコンテンツ～

北海道情報大学 医療情報学部 医療情報学科

○千葉 二三夫、西部 俊哉

0-29 HMV・HOT 版 災害対策マニュアル作成の取り組み

公益社団法人 北海道臨床工学技士会 危機管理委員会（北彩都病院）

○國木 里見

S-01 ネブライザーによる加温加湿チャンバーへの影響

JA 北海道厚生連 旭川厚生病院 医療技術部 臨床工学技術科

○石崎 拓海、岡田 功、笠島 良、植村 勝訓、平賀 友章、池田 裕晃
齊藤 菜都美

C 会場(1階 第1会議室)

公益事業推進委員会 活動報告(10:05～11:05)

「公益事業推進委員会の活動を知ってますか？」

- 座長：函館五稜郭病院 雲母 公貴 先生
苫小牧日翔病院 佐藤 光人 先生
1. 「公益事業推進委員会ってなんですか？」 社会医療法人北楡会札幌北楡病院 月安 啓一郎 先生
2. 「公益活動の実情と実績」 旭川医科大学病院 佐藤 貴彦 先生
3. 「新規委員の体験談」
～前任者から受け継いだバトン 清水赤十字病院 山本 悦子 先生
～公益委員会に参加してみたら 札幌孝仁会記念病院 梶原 康平 先生
企画：公益事業推進委員会

ランチセミナー C 会場(12:05～13:05)

「医療 DX による機器開発を担う～開発変遷と意義を振り返る」

座長：北海道大学病院 ME 機器管理センター 部長・臨床工学技士長 太田 稔 先生
演者：仙台赤十字病院 医療技術部 臨床工学技術課 課長 吉岡 淳 先生
共催：ニプロ株式会社

北海道臨床工学技士会 教育委員会企画(13:35～15:15)

—臨床実習指導者講習会 体験ワークショップ—

座長：那須敏裕（市立札幌病院）先生、磯雅（市立旭川病院）先生
講師：工藤元嗣（日本医療大学）先生
ファシリテータ：板坂竜（市立札幌病院）、伊藤仁弥（函館五稜郭病院）、岡山雅哉（日本医療大学）
高平昂（日本医療大学）、福士明里（旭川医科大学病院）、高良堯治（斗南病院）

D 会場(1階 第3会議室)

スイーツセミナー (13:35～15:15)

司会：委員長 山本 将平 先生（北海道厚生連帯広厚生病院）
副委員長 小室 拓也 先生（旭川赤十字病院）

第一部：特別講演

「専門認定制度が育てる次世代 CE」 ～専門家からチーム医療の推進者へ～

公益社団法人 日本臨床工学技士会 専門認定検定委員会 担当理事
千葉メディカルセンター 診療技術部部长 兼 臨床工学科科長
配野 治（経営管理修士）先生

第二部：委員会企画

挑戦する価値がある！ 資格取得の《リアル》

函館五稜郭病院 主任 大橋 利成 先生
旭川赤十字病院 救急救命センター係長 小野寺 哲兵 先生
企画：人材活性委員会